

♪ 中部レディース・カンタートin稻沢

2024年11月4日(月・祝) 名古屋文理大学文化フォーラム

♪ うた・振付け・学び… 合唱大好きの200人が稻沢に!!

4人の講師のもと、およそ200人の受講者が稻沢に集まりました。かつて全日本合唱連盟主催行事として行われていたおかあさんカンタートが昨年度から各支部での開催に改められ今回はその2回目。

名称をレディース・カンタートと改め、高校生以上の男女を対象に女声合唱曲を学ぶ講習会として開催。合唱連盟加盟団体であっても参加できることにし、実際に非加盟団体からの参加や、中部支部ではない静岡県や栃木県からの参加もあり、関心の高さが伺えました。当日は、それぞれの講師の先生方が受講生と真摯に向き合い、的確な指導をされたおかげで、どの講座も学びと笑いで満ちあふれ、受講生からはとても楽しく充実した講座であったとの声を多数いただきました。

1日の終わりには講座発表会を行い、講座2の受講生は大ホールのステージで「うたが生まれる」「花束」(なかにしあかね)、「きみ歌えよ」(信長貴富)を発表。講座3の受講生は、「翼をください」(横山潤子編曲)「東京ブギウギ」(石若雅弥編曲)を、振りを付けて発表。出席していない講座の内容を推し量ることができただけでなく、演奏発表としても楽しめる水準のできばえに会場が盛り上がりいました。日頃は別々の合唱団で活動している200人が講座発表会で発表できるまでになれたのは先生方の巧みな指導のたまものですが、受講者の皆さん意識の高さを忘ることはできません。

合唱大好きな人たちが集まると、こんなに楽しいことが実現できるのだと、改めて感動しました。

(文責:市野恵子)

♪ 永ひろこ先生からのメッセージ

～ 楽しく美しく、歌って踊った！ 中部レディース・カンタート♪ ～

かれこれ15年以上、自分が関わる少年少女合唱団から、90代の方がいらっしゃるシニア合唱団まで、振付けをお願いしている志乃舞優先生。多くの方々に先生のご指導の魅力をお伝えできる機会があったら…という長年の念願がようやく叶いました。

今回は「翼をください」と「東京ブギウギ」の2つの講座に、高校生からシニア世代までのレディースがそれぞれ90名ずつ集われ、熱気ムンムン！ 80分の講座時間でしたが、志乃舞先生の超楽しく素敵なご指導で見る見るうちに皆さんの姿勢が美しくなり、最後の発表も舞台いっぱいに歌声とパフォーマンスと笑顔が広がりました。この日初めて集まったメンバーが、わずか1回のレッスンで堂々とした舞台発表を成し遂げ、本当に見事でした！ デュアルタスクはフレイル防止に効果があるとされています。歌って、ハモって、踊って、いつまでも明るく元気に活動していくといいですね。



♪ 講座1 「かがやく声で歌いたい」 講師 金原聰子先生

大ホールの最初の講座は、金原聰子先生による発声指導「かがやく声で歌いたい」。冒頭に「Ombrā・mai・fu」の独唱を披露され、受講生はその美しい声に魅了。講座の最終目標を認識した後は、ストレッチ→姿勢→呼吸→響きなど、基本を大切にした丁寧な指導。

名古屋少年少女合唱団出身、AltoからSopranoまで全てのパートを経験されただけあって、発声の課題にあった具体的な解決方法を示してくださいるので、メモを熱心に取る参加者も多く、一人一人の発声を見直すきっかけをつくっていただきました。（文責：市野恵子）



♪ 講座2 「イキイキと歌おう日本の歌」 講師 辻秀幸先生

講座2－1『歌が生まれる』で記憶に残ったことは、取りににくいリズムの歌詞を「パーン、パーン」と言い換えて歌うことです。また、「おだやかに」の歌詞を「たらばがに」と読み替えたことで、リズムがつかみやすくなりました。さらに、「しっとりと」は髪をリスしている感じなど、ひとつひとつの例えが分かりやすく、ノリがいいので一瞬で講座に引き込まれました。ウキウキワクワクしながら、一番いい顔で「あなたの心と共にありたい今」を歌いましょう、と。



講座2－2『花束』では、♯♭の難しい音程の練習を繰り返す中で、なかにしあかね(義妹)作曲の音程の「難しさ」こそが予想と違う音形の「おもしろさ」である、と表現していました。また歌詞にある6種の花の花言葉を調べ、薔薇の本数によって意味が違うことに受講者は盛り上がり、楽しみながら歌詞を深めていく笑顔あふれる講座でした。

最後のP「もういちりん」を“限りなくチャーミングに”とおっしゃったのが印象的でした。（文責：中村敬子）



♪ 合唱ワンポイントレッスン コールリリアス、かの子会の2団体が受講

講師 辻 秀幸先生

♪ 発声ワンポイントレッスン かの子会、桜花学園高等学校の2団体が受講

講師 金原聰子先生

コールリリアスのみなさんが、辻秀幸先生の30分レッスンを受講しました。歌ったのは『ロマンチストの豚』です。辻先生は、歌詞を紐解きながら即興で振りを付けていきました。歌詞のイメージと曲のイメージが振り



付けによってどんどん深まっていく感じがしました。「豚が身もだえするんだよ！どんな身もだえだろう？さあ、みんなやってみて！」という雰囲気で笑いに包まれながらも、今まで見慣れていたはずの歌詞に新しい世界が見えてきました。歌声に色が付き伸びやかに広がっていく、とてもステキな体験でした。（文責 平下裕章）



♪ 講座3 「声とからだは一心同体！」 講師 永ひろこ先生・志乃舞優先生

講座3は永ひろこ先生に合唱指導を、OSK日本歌劇団で座長を務め、ダンサーや振付師として活躍されている志乃舞優先生に振り付け指導を担当していただきました。歌とダンスを融合し新しい発見をしようという講座。このレディースカンタートの目玉企画です。



講座3－1受講曲の『翼をください』では志乃舞先生の振りがどんどん付けられていきます。「この大空に翼を広げて飛んでいたい～」ほら！指先見て！翼が折れると！！と鋭い指摘が飛びますが、志乃舞先生の関西弁に受講生はその都度大笑い。指の先の先まで思いが行き届いたとき、歌の世界が目の前に広がったような不思議な感覚を味わうことができました。



♪ 受講者から感想を寄せていただきました

「普段、学校で演奏する曲でもダンスや振り付けがある曲を取り入れていますが、今日は今までやったことがない振りが多かったです。いつも以上に身体を大きく動かすことや観客から見たときによく見えるような振りを意識することができました。」

「学校の練習では学生だけで歌っているので、今日はいろいろな人と歌い、さらに振りがついたことでよりのびのびと歌うことができました。」

「外国語の発音で参考になることが多々あった」

「発声を直していただき、たくさん気づきや課題を見つけることができた」

「合唱団で整えたイメージ以上の、辻先生のレッスンはとても楽しく歌えた」

「心に刺さるアドバイスをたくさんいただいた。」

♪ 参加者にインタビュー

〈高校生 講座1の発声講座に参加後〉

演奏会やコンクールを目指しているので、それにつなげられたら良いと思って参加しました。いろいろな先生方のレッスンを受けていろいろ吸収したい。それぞれ違うところがあるって発見があります。

〈浜松からテナーとアルトで歌う男性〉

普段女声合唱の講習会にはなかなか入りにくいが、今回は男性も参加できるとのことだったので参加しました。いつも言われていることに加え、新しい発見もありよかったです。普段はアルトでも混声合唱曲なので、今回女声合唱曲を歌ったのは初めてでとても楽しかった。

〈県内加盟団〉

2-1はリズムのこと、2-2は音程について、講師の人柄が伝わってきて楽しめた。

〈三重県加盟団〉

近県のカントートにはよく参加している。2-2、3-1、3-2の講座に参加、振付けの講師の先生がおもしろく指導してくださり楽しかった。いつもと違う先生に指導を受けるのがよい。福井のカントートのときには県連がバスを出してくれた。

〈未加盟大学生〉

1、2-1、2-2の講座を受講。小中学校で歌っていたが大学では合唱団に入りそびれてしまった。Nコンを見て歌いたくなりHPで見つけて参加した。久しぶりの感覚で楽しかった。どこかの合唱団に入りたいと思っている。

〈県内加盟団〉

発声講座は身体の構造もよくわかるし、自分がどんどん変わっていく。曲に対しての気持ちがあるから伝わってくる。期待通りのハッピーな時間だった。

♪ 参加者の感想（アンケートより）

講座1 発声講座

- 身体の使い方や声の出し方まで基礎から学べてよかったです
- 先生の指導はわかりやすく素直に入ってきた
- 自分に足りてない部分がわかり、発声を見直せてとてもためになった
- 声の出し方、高い声の出し方、息を出し切ることを教えていただいた
- 後半も曲ではなく発声を教えていただきたかった
- 先生が何度も「準備」と言われ、ブレス、息の流れ、全身を整えて歌い始める大切さを学んだ

講座2-1、2-2

- 先生のトークがおもしろくて、楽しくレッスンでき、90分があつという間だった
- 表現がわかりやすく、理解しやすく、記憶に残りやすい説明で、とてもよかったです
- リズムを感じる、歌詞からくるイメージの膨らませ方を学んだ
- 言葉を大切に 意味を知って気持ちを込めて歌うことの大切さを教えていただいた
- ジャジーなリズムを意識するだけで、曲にキラキラ感イキイキ感がプラスされた
- 詩の繰り返しの歌い方をただ強く弱くだけでなく意味を考えて歌えるようにする発見が楽しかった

講座3-1、3-2

- 教え方がわかりやすく、楽しくダンスと歌を学べてあつという間でした
- 先生がおもしろくてダンスが楽しくて、笑顔で歌って踊れることができて楽しかった
- 身体を大きく使う動作で、全身を使って楽しく歌うことができた
- 曲がわくわくするような楽しい歌でよかったです、振付と歌を同時に意識することが難しかった
- ダンス楽しかった、でも歌が歌いきれず後悔、次は暗譜をして臨む
- 腕は背中から、手は指先の向こうまで、楽しく収穫の多い一日だった

♪ 第77回中部合唱コンクール

9月28日(土)・29日(日) 金沢歌劇座大ホール

全日本合唱コンクール中部支部大会には、中部7県から代表となった61団体が出演。そのうち、以下の20団体が愛知県代表として、日頃の練習の成果を発揮した演奏を披露しました。いずれも団の持ち味を生かした演奏を行い、審査員の先生方も甲乙つけがたい演奏に悩まれたようです。

第1日目 【高等学校部門Aグループ】 詳細は、愛知県合唱連盟HPをご覧ください。

- ◎桜花学園高等学校合唱団、金城学院高等学校グリークラブ、
名古屋市立向陽高等学校合唱部、愛知教育大学付属高等学校音楽部。

【高等学校部門Bグループ】

- ◎愛知県立岡崎高等学校コーラス部、聖カタリナ学園光ヶ丘女子高等学校合唱部

【大学職場一般部門 大学ユースの部】

- 混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ、中部大学混声合唱団

第2日目 【中学校部門 混声合唱の部】

- ◎名古屋市立滝ノ水中学校合唱部、◎名古屋市立志賀中学校合唱部、名古屋市立高針台中学校合唱部

【中学校部門 同声合唱の部】

- ◎名古屋市立桜山中学校コーラス部、◎金城学院中学校グリークラブ、岡崎市立六ツ美北中学校合唱部

【大学職場一般部門 室内合唱の部】

- ◎エシュコル、Ensemble Spicy

【大学職場一般部門 同声合唱の部】

- ◎VOCI BRILLANTI、クール・ジョワイエ

【大学職場一般部門 混声合唱の部】

- ◎岡崎混声合唱団、合唱団ういろう

審査の結果、7部門9団体が中部支部代表◎として、全国大会に出場しました。

来年は9月27日(土)、28日(日)に豊田市民文化会館で開催。出場される皆さんは中部大会を目指して切磋琢磨して頑張りましょう。お手伝いも大募集！

♪ 第77回全日本合唱コンクール全国大会 中学校・高等学校部門

2024年10月26(土)・27(日) ソニックシティ大ホール(さいたま市)

第1日目の高等学校Aグループ(6~32人)に出演した、桜花学園高等学校合唱団は、一つ一つの音に魂を込める桜花らしさを発揮して、三宅悠太とKocsár Miklósの作品を演奏し、金賞・特別賞(埼玉県教育委員会教育長賞3位)を受賞。高等学校Bグループ(33人以上)に出演した岡崎高等学校コーラス部は、壮大なスケールの松下耕作品を歌うために毎日腹筋をして大会に臨み、生命体が創り出す大宇宙を表現。銀賞を受賞した。

第2日目の中学校部門混声合唱の部に出演した名古屋市立滝ノ水中学校合唱部は、多田武彦、横山潤子作品を詩の世界に寄り添い描き、金賞・特別賞(さいたま市長賞2位)を受賞。名古屋市立志賀中学校合唱部も「My Best 一步前進」を目標に練習。部員の団結力の高まりを感じて舞台に立ち、銀賞を受賞した。

続く同声合唱の部では、名古屋市立桜山中学校コーラス部は、65名の部員全員で全国の舞台に上がり、多彩な和音の展開する2曲を豊かに歌いあげ、銀賞を受賞。金城学院中学校グリークラブは、定期テストや修学旅行などの行事が続く中、部員の固い結束で名田綾子、木下牧子作品を演奏し、銅賞を受賞した。

来年は10月25日(土)・26日(日)にオーバード・ホール富山県で開催。みなさんの自分らしさを大切にした、個性あふれる演奏を楽しみにしています。

♪ 第77回全日本合唱コンクール全国大会 大学職場一般部門

2024年11月23(土)・24(日) 愛媛県民文化会館メインホール

第1日目 室内合唱の部に出演したエシュコルは、3年連続で全国大会に出場。課題曲とIvo Antognini高嶋みどりの世界を見事に歌い分け、銀賞を受賞。

第2日目 同声合唱の部に出演したVOCI BRILLANTIは、全国大会常連。課題曲「ねむの花」の弾き振りに加え、Samuel Barberの名曲「Agnus Dei」女声版(首藤健太郎委嘱編曲)に挑み、世界中の平安を願いながら演奏し銅賞を受賞。混声合唱の部に出演した岡崎混声合唱団は、難曲「とてつもない秋」(信長貴富)を壮大かつ繊細に歌い上げ、全国大会常連&老舗の魅力を発揮して、銀賞を受賞した。

来年は11月22日(土)・23日(日)に、佐賀市民文化会館で開催されます。各団の持ち味を生かした、バラエティーに富んだ演奏を期待しています。

♪ 2024年度合唱講習会

2025年3月30日(日) 名古屋市中村文化小劇場ホール

今年度は、上西一郎先生をお招きして、高校生以上の方を対象に講習会を開催します。

上西先生は全日本合唱コンクールにおいて、クールシェンヌ(混声合唱の部)で金賞を15回受賞。加えて今年度は、Ensemble Nisi(室内合唱の部)が金賞・文部科学大臣賞を受賞。NelkenChor(同声合唱の部)の3部門3団体が全国大会に出場。上西旋風を巻き起こし注目を集めています。

発声や愛唱曲で日本語の歌い方を学んだ後は、発売されたばかりの名曲シリーズ53(2025年度のコンクール課題曲)を皆さんと一緒に譜読みしながら合唱表現を追究します。

※ 参加要項は連盟HPよりダウンロードできます。申込締切りは1月29日(水)。

※ 名曲シリーズNo.53は、愛知県合唱連盟で購入できます。1冊1,200円

女声 合唱の部 9:50~11:30 100分 途中休憩有り	オープシンギング & 名曲シリーズNo.53(コンクール課題曲)を歌おう ・上西先生の選曲された合唱曲「春」(信長貴富)を皆さんと歌います。 ・課題曲 F3 Motet Vernale I(間宮芳生)を会場の皆さんと、譜読みしながら合唱表現を追究します。
合唱クリニック 12:30~15:20 ※1団体50分程度	・上西先生のご指導を直接味わうことのできる、贅沢な講座です。 4分程度の受講曲。(ピアノ伴奏が必要な場合は各団体で準備してください。)レッスン受講団体(声種は問いません)を3団体募集します。 ☆女声合唱の部、混声合唱の部の受講者は、聴講することができます。
混声 合唱の部 15:50~17:30 100分 途中休憩有り	オープシンギング & 名曲シリーズNo.53(コンクール課題曲)を歌おう ・上西先生の選曲された合唱曲「リフレイン」(信長貴富)を皆さんと歌います。 ・課題曲 G2 Das edle Herz(A. Bruckner)を会場の皆さんと、譜読みしながら合唱表現を追究します。

参 加 費	一 般	高 校 生
女声合唱の部	1,000円	500円
合唱クリニック レッスン受講	1団体	10,000円
混声合唱の部	1,000円	500円
終日参加	1,500円	700円